



佐沼高校通信

第5号 平成23年12月発行 宮城県佐沼高等学校



◆ 2年生が修学旅行から帰ってきました

1月29日～12月2日の3泊4日で関西方面へ修学旅行に行ってきた。1日目京都(金閣寺、北野天満宮、清水寺)、2日目京都自主研修、3日目奈良大阪(奈良公園、法隆寺、USJ)、4日目大阪(大阪城)を見学しました。日本の歴史を中心に学習し、楽しく有意義な修学旅行でした!



金閣寺



清水寺



USJ

新人大会の主な結果

陸上部 県新人大会 男子八種競技優勝 松浦祐希(南方中) 男子棒高跳び第3位 星桂太(新田中)
東北新人大会 男子八種競技第3位 松浦祐希(南方中)

バスケット部 地区新人大会 女子第一位(4勝0敗)

バドミントン部 県新人大会 男子団体ベスト8 男子個人ダブルス(長部・氏家組)ベスト8

柔道部 県新人大会 男子個人66キロ以下級ベスト16 熊谷諒(中田中)

サッカー部 地区新人大会 4勝1敗 県新人大会出場

ソフトボール部 地区新人大会優勝(3勝0敗) 県新人大会ベスト8

ボート部 県新人大会 男子ダブルスカル3位(須藤・水野) 女子ダブルスカル優勝(武田・佐藤)
女子舵手付クォドルプル2位(尾張・佐々木・小野寺・伊藤・高倉)
東北新人大会 女子ダブルスカル3位(武田・佐藤) 全国選抜大会出場決定

書道部 全国川開き書道展 文部科学大臣賞 斎藤彩(登米中)
準大賞 伊藤綾(登米中) 菊地奈津(登米中) 後藤美鈴(中田中)

合唱部 第63回全日本合唱コンクール宮城県大会銀賞

箏曲部 第20回宮城県高等学校日本音楽定期演奏会 最優秀賞 全国総合文化祭出場決定

◆ 合格内定生徒よりメッセージ

東北大学工学部合格 菅原 大和(東和中・軽音楽部)

私が佐沼高校に入学した理由は、とにかくいい大学に進学すること、部活動を含め高校生活を目一杯楽しんでいきたいという目標があったからです。まず、部活動はバンドの仲間と様々な発表で最高のライブをするために毎日練習しました。特に佐高祭では、自分たちが演奏している曲で聴いてくれる人たちが一緒に盛り上がってくれたときは、とても爽快で本当に楽しいひと時を経験することができました。進路達成については、先生方が通常授業や土曜課外のP講座等の授業で内容の濃い授業をして下さり、また自分自身も1年生のころからテストでの成績を維持しようとしてきた努力が実り、入学当初からの目標であった東北大学にAO入試で合格することができました。私はこうして高校での日々を振り返ってみて、自分のやりたいこともやりつつ、勉強もしっかりできる佐沼高校に入学して良かったと思います。



宮城教育大学初等教育合格 鈴木 優里（若柳中・バレーボール部）

私は来年度、宮城教育大学に進学します。中学生の頃からこの大学を目標としていたので、これから始まる新たな生活に胸が高鳴る思いです。進路実現が叶った今、心にあることは佐沼高校への感謝の気持ち。私は心から、ここで3年間を過ごせて良かったと思っています。なぜなら、自分を育ててくれる環境がしっかりしているからです。私は3年間で、けじめを身につけることができました。佐高生は皆、勉強・部活・行事の3種類のスイッチを持っています。勉強するときは一生懸命機に向かい、弾けるときは思いっきり弾けて全力で楽しむ、そういったスイッチを使い分けた生活スタイルを確立することができるのです。社会で生きるために勉強はもちろん大切です。しかし、勉強だけが生きる全てでもありません。だからこそ皆さんには、文武両道のもと、かけがえない高校生活を通して成長していった欲しいと思います。

山形大学人文学部合格 佐藤 絢香（豊里中・ソフトテニス部）

私の高校生活はほとんど毎日が部活動でした。土日ほとんど練習で、勉強と両立するのは大変でしたが、どちらも中途半端にはしたくなかったので、バスでの通学時間や休み時間を利用して勉強する時間を確保しました。家庭ではどんなに疲れていても最低限の復習をするように心掛けました。空き時間をうまく利用することで授業も部活動も集中して取り組むことができました。勉強と部活動の両立は簡単なことではありませんが、自分と同じように頑張っている仲間が佐沼高校にはたくさんいるので、自分も頑張ろうという気持ちになることができました。中学生のみなさんも今はなかなか結果が出ない人もいるかもせいいませんが、試験まで諦めずに続ければ、おのずと結果はついてきます。自分に限界を作らない姿勢を大切に頑張ってください。

千葉大学法経学部合格 高橋 将希（南方中・陸上部）

私は高校時代、部活動と勉強の両立に力を入れていました。部活動は毎日あり、帰りも遅かったので勉強する時間はあまりありませんでした。しかし休み時間を利用したり、夜早く寝て朝早く起き、勉強時間をしっかり確保しました。その結果、3年間部活動と勉強を両立することができました。部活動と勉強の両立は確かに大変ですが、決してできないものではありません。

次に、私からみなさんに高校生活で大切にしたいこととお話しします。それは何にでも本気で取り組むことです。勉強するときは思いっきり勉強し、遊ぶときは思いっきり遊んで下さい。それが高校生活を楽しく過ごすコツです。高校では楽しいことと辛いことがたくさんあります。そしてそれが自分を一回りも二回りも成長させてくれます。何事にも本気で取り組み、みなさんが充実した高校生活を送ることを願っています。

宮城県職員 学校事務

及川 奈津実（南方中・バスケ部）

私は高校一年生の時に自分が本当にやりたいことに出会いました。それが、間接的にでも子どもたちと関わりながら事務職ができる「学校事務」という仕事でした。明確な夢ができてからは、公務員課外を受けたり、夏休みを利用して専門学校で行われるセミナーに参加したりと、積極的に勉強するようになりました。しかし、だからといって順調に成績が伸びた訳ではありません。その時期は本当に辛く毎日のように悩みましたが、それでもやはり自分のやりたいことのためだから、投げ出さず頑張り通すことができました。皆さんも今、高校入試を目の前にして必死に頑張っている頃だと思います。その中で、自分の思うようにならず、悩むこともあるでしょう。しかし、そこから逃げず、自分の手で夢をつかみとってください。

登米市消防

佐藤 幸貴（中田中・陸上部）

私は来年から登米市消防で働きます。私の高校生活は部活動が中心でした。しかし、部活動で疲れていても、毎日少しでも勉強するように心掛けていました。公務員試験は広い分野から浅く出題され、中には学校では習わないものもあります。それ故、公務員課外に積極的に参加したり、学校の授業を集中して聞くようにして工夫して勉強するようにしていました。部活動を引退してからは、本気で進路実現を目指し、勉強に力を入れました。勉強が辛くなったこともありましたが、絶対に合格するんだという強い気持ちを持ち続けていたので乗り越えることができました。何より家族や友達、先生方の支えがあったからこそ合格できたと思っています。高校生活はあっという間に終わってしまいます。よって、何事にも全力で取り組み、夢を実現できるように強い意志を持って頑張ってください。

宮城県警察官

伊藤 脩平（新田中・野球部）

私は来年から宮城県警察官になるために警察学校で学ぶ予定です。私の高校生活は、ほとんど部活動に費やしてきました。休日は試合などがあり、忙しかったのですが、時間を見つけて短時間で集中して勉強するようにしていました。しかも、公務員の試験の内容は普段の勉強とは違った問題が出題されます。それ故、私は課外や説明会などに多く参加し、重要なポイントや出題傾向を聞くことによって効率よく勉強しました。

私は進路達成するためには「行動力」が必要だと思います。中学生の皆さんも、高校に入ったら、積極的に行動してみてください。高校3年生はとても大変でしたが、高校生活の中で最も充実していた年でした。最後の最後まであきらめずに、ひたむきに努力していけば夢に一步步近づいていけるとと思います。頑張ってください。